



90th
ANNIVERSARY

—多摩の明るい
未来を目指して—

たましん美術館

TAMASHIN REPORT 2023.9

たましんレポート 2023.9

2023.04.01 → 2023.09.30

2023年度上半期の取り組みと
その結果についてご報告します。

いつもたましんをご愛顧いただきまして、
誠にありがとうございます。

多摩の明るい未来に向けて、多摩地域がよりいっそう
安心して豊かに暮らせる場所となるように、
今まで以上にお客さま一人ひとりが抱える課題に
真摯に向き合い、経営理念である

「お客さまの幸せづくり」を実現してまいります。

今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 金井 雅彦

「提供」有限会社 三上 鯉節 店様



多摩信用金庫

経営理念

たましんは、
お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、
お客さまの幸せづくり

長期ビジョン

永続的に「地域の課題解決インフラ」になる

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として協同組織による地域金融機関たる精神に徹し、

1. 役職員一致の体制を整え
2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめ

以て地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

企業倫理

1. 社会的公器の自覚と信頼の確立

たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立していきます。

2. お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献

たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献していきます。

3. 法令やルール of 厳格な遵守

たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行っていきます。

4. 反社会的勢力の排除

たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除していきます。

5. 経営情報の公開と地域社会との調和

たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図っていきます。

たましんプロフィール

2023年9月末現在

創 立	1933年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 2006年 1月10日 合併により多摩信用金庫
純 資 産	1,102億円
普通出資金	208億円
本 店	東京都立川市緑町3番地の4
店 舗 数	本支店…79／出張所…2 店外ATMコーナー…60
役 職 員 数	2,019名(パートタイマー職員159名含む)

多摩地域で生まれた金融機関だからこそ、ことができます。

地域のお客さまとともに私たちの多摩を未来にわたって成長・繁栄させていくために、多摩で活動する企業・事業者のお客さま、多摩で暮らし働く個人の皆さま、多摩の地域社会全体を、金融サービスはもちろん経済・文化・生活などあらゆる角度から総合的・積極的にサポートしています。



※1 たましん各店の預金保有者数の合計(2023年9月30日現在)
 ※2 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」
 ※3 東京都総務局「東京都の人口(推計)」(2023年9月1日現在)
 注. 会員数は2023年9月30日現在

たましんとともにお客さまの課題解決をサポートする子会社

たましんビジネスサービス株式会社
「たましん」と「たましんグループ会社」への業務サポートを通じて、地域社会の繁栄と地域の皆さまの幸せづくりに貢献します。

たましんリース株式会社
「多摩への貢献・共に発展」を経営理念として、リース・割賦販売などのサービス提供を通じて、お客さまの課題解決に取り組みます。

多摩保証株式会社
たましんにおける住宅ローンの信用保証業務などを通じて、地域の皆さまの住まいの夢をサポートします。



アライアンス担当

創立90周年事業 TAMA MIRAI ビジネスフェア

「新しい販路(商談会)」、「新しい商品(相談会)」、「新しい出会い(交流会)」を創出する機会を提供することを目的に、TAMA MIRAI ビジネスフェアを青梅信用金庫と共催で9月6日・7日に開催しました。

大手バイヤーとのマッチングの機会である「商談会」、自社商品のブラッシュアップをする「相談会」、事業者同士の交流の機会である「交流会」を2日間で開催しました。「商談会」には100社を超える企業・事業者が参加されました。また、「交流会」には60名を超える事業者・バイヤー等が参加され、お客さまの販路拡大への支援ができたことを実感しています。



お客さまの海外展開を支援 海外展開セミナー

対中国政策などで注目を集める米国の経済展望と進出日系企業の動向をテーマに日本貿易振興機構(JETRO)と連携した海外展開セミナーを7月に開催しました。



海外事業支援担当

企業・事業者のお客さまの海外展開の関心は高く、相談は年々増加しています。たましんでは、海外展開・外国為替の専門部署を有しており、海外展開支援を行っています。今後もお客さまの課題解決に外国為替業務を通じて取り組んでいきます。



成長支援担当

フコクしんらい生命との共同寄付

持続可能な開発目標の達成に向けた取り組みの強化、また地域社会への貢献を目的として、フコクしんらい生命保険株式会社と協力する形で、保険販売を通じた共同寄付を実施しています。2022年度の取り組み分として、立川市社会福祉協議会に寄付金を贈呈しました。

対象商品の年間販売件数に所定の単価を乗じた金額について、各々同額を寄付する取り組みです。生命保険の販売を通じてお客さまに「安心」を提供することに加え、地域社会へ貢献することができます。総額282,000円(たましん、フコクしんらい生命保険株式会社より各141,000円)を贈呈しました。





お客さまサービス担当

創設90周年記念 たましんトラベルサークル

創設90周年記念 たましんトラベルサークル2023「ラグジュアリー北海道 至高の2泊3日」を9月から催行しました。屈指の高級シティホテルと憧れの高級リゾートホテルにご宿泊いただき、雄大な北海道の景色を堪能できるスポットをめぐるしました。

お客さまからは「ホテルの対応や食事が良かった」などご好評いただきました。お誘いしたお客さまに喜んでいただき嬉しかったです。



すまいるプラザによるお子さま向け「金融教育イベント」

すまいるプラザは、暮らし・住まい・お金のことをじっくりご相談いただけるコンサルティング専門窓口です。平日は夜7時まで、土日も営業しています。



すまいるプラザスタッフ



すまいるプラザでは、「親子で挑戦!お金のクイズ」や「たましんのお仕事体験」「夏休み特別イベント親子で学ぶお金の教室」など、お子さま向けの金融教育イベントを開催しました。お金の歴史やお金の流れ、貯め方などのクイズのほか、窓口業務のワークショップを通じた金融機関のお仕事体験などを体感いただきました。多くのお子さまが楽しみながらお金の大切さを学ぶ様子が見られ、保護者の方も大変喜ばれていました。

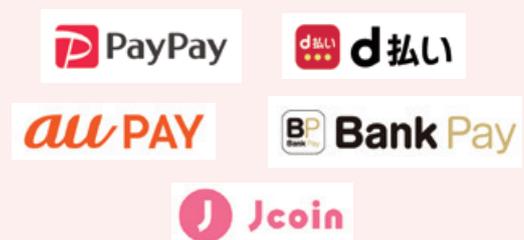


お客さまサービス担当

キャッシュレス決済でさらに便利に

お客さまの多様な決済ニーズにお応えするため、「PayPay」「d払い」「au PAY」「BankPay」「J-Coin Pay」など様々なキャッシュレスサービスにたましんの口座が登録できるようになりました。

お客さまがご利用のキャッシュレスサービスに、たましん口座からチャージができるようになり、さらに便利になったとお声をいただいています。これからも積極的にお客さまにご案内していきたいです。





まちづくり担当

馬場咲希選手「世界挑戦応援プロジェクト」オフィシャルパートナー

たましんは、ゴルファーとして活躍する馬場咲希選手「世界挑戦応援プロジェクト」のオフィシャルパートナーです。日野市出身18歳の馬場咲希選手は、2022年8月の「全米女子アマ」を制し、日本勢として37年ぶり2人目の快挙を成し遂げました。たましんは、世界の舞台で活躍する馬場咲希選手の挑戦を応援します。



多摩地域出身の選手が世界で活躍する姿が見られるのは嬉しいです。馬場咲希選手を応援しています！

自治体が直面する課題の解決と共有をする場「TAMA地域創生塾」

多摩地域の自治体の実務担当者が、各自治体が直面する地域課題を持ち寄り、課題解決に向け、有識者の知見も踏まえながら、相互に意見交換を行うことにより、解決策や具体的な取り組みを追究、共有する場として開催しています。



アライアンス担当

各自治体が直面している課題をテーマに設定し3ヶ月毎に開催しています。第1回は、「公園再編整備」をテーマに開催し、小金井市および東村山市の担当者による取り組み事例の発表や一般財団法人公園財団常務理事の町田誠氏による講演等が行われました。参加者間で解決策を見出し、共有することで、各自治体の参加者同士のネットワークが構築できました。



金融犯罪・マネロン対策
グループ

「ストップ!ATMでの携帯電話」運動の定着に向けた取り組み

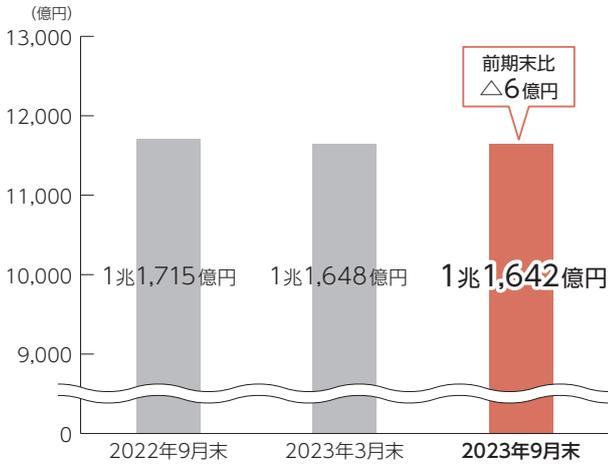
「ストップ!ATMでの携帯電話」運動により、特殊詐欺被害者の防止に取り組んでいます。また、「ATMコーナーでの携帯電話 通話を見かけたら110番!」のポスターを掲示し、地域の皆さまへのご協力をお願いしています。

8月には、高校生の方が、携帯電話のスピーカーフォンで通話をしながらATM操作をしているご高齢者を見かけ、詐欺を疑い警察に通報していただいたことで、特殊詐欺被害を防止することができました。営業時間外や店舗外ATMに誘導されることも多いことから、特殊詐欺被害防止に向けて、地域の皆さまのご協力をお願いします。



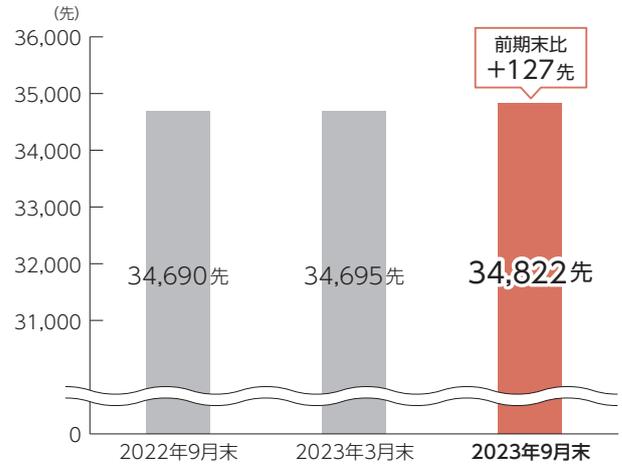
● 貸出金残高の推移

今後もさらに数多くのお客さまの悩みや課題に応えられるよう努めていきます。



● 事業所融資先数の推移

企業・事業所のお客さまの課題解決に全力を注いで支援してまいります。

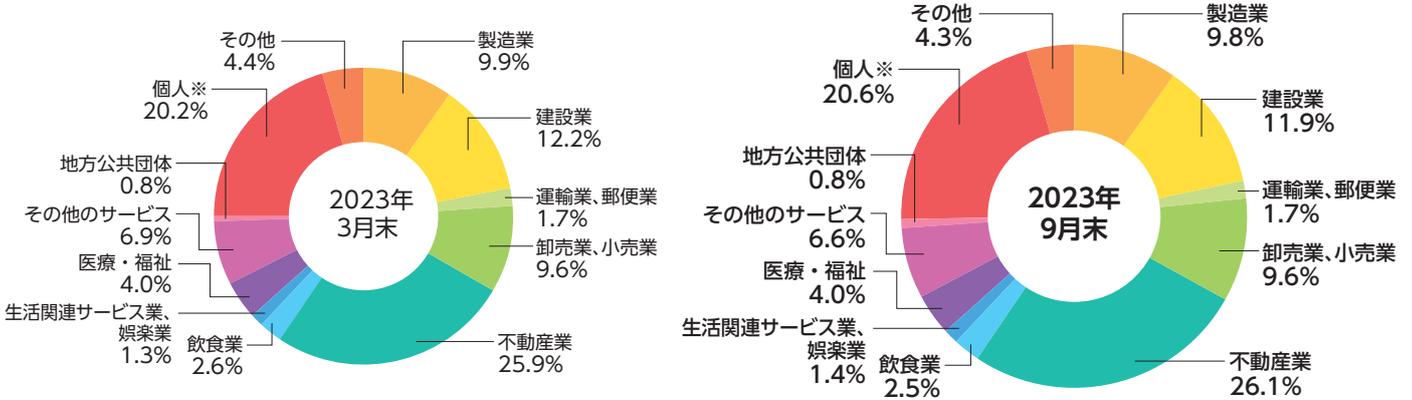


※先数には、総合口座貸越のみのお客さまは含まれていません。

● 貸出金業種別残高内訳

たましんは、特定の業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、多くのお客さまの課題を共有し、ともに解決していくことで地域のお客さまを支援するという、たましんの基本方針に基づくものです。

業種別残高内訳 (抜粋)



業種別残高内訳 (詳細)

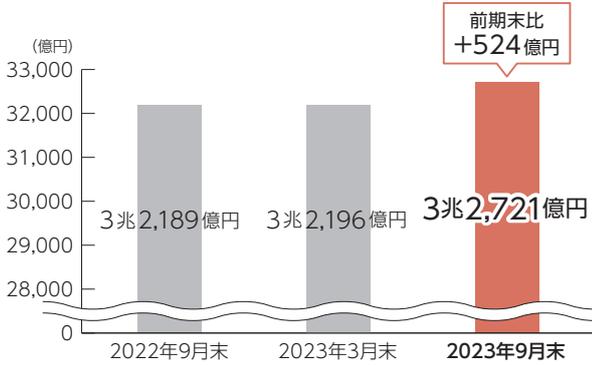
(単位: 百万円)

業種区分	2023年3月末		2023年9月末	
	残高	構成比 (%)	残高	構成比 (%)
製造業	115,331	9.9	114,267	9.8
農業、林業	418	0.0	414	0.0
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	70	0.0	69	0.0
建設業	142,309	12.2	139,201	11.9
電気・ガス・熱供給・水道業	820	0.0	780	0.0
情報通信業	7,947	0.6	8,003	0.6
運輸業、郵便業	20,615	1.7	20,868	1.7
卸売業、小売業	112,500	9.6	112,813	9.6
金融業、保険業	15,479	1.3	15,433	1.3
不動産業	302,457	25.9	304,655	26.1
不動産売買業	37,042	3.1	39,333	3.3
不動産賃貸・管理業	262,051	22.4	261,620	22.4
不動産流動化等を目的とするSPC	—	—	—	—
不動産関連地方公社等	3,363	0.2	3,700	0.3
物品賃貸業	2,410	0.2	2,347	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	13,334	1.1	13,605	1.1
宿泊業	963	0.0	930	0.0
飲食業	30,602	2.6	30,162	2.5
生活関連サービス業、娯楽業	15,995	1.3	16,497	1.4
教育、学習支援業	10,046	0.8	9,527	0.8
医療・福祉	47,252	4.0	46,686	4.0
その他のサービス	80,785	6.9	77,616	6.6
地方公共団体	9,981	0.8	9,660	0.8
個人※	235,528	20.2	240,697	20.6
合計	1,164,851	100.0	1,164,240	100.0

※住宅資金・消費資金等の貸出金は、個人に集計しています。

● 預金積金残高の推移

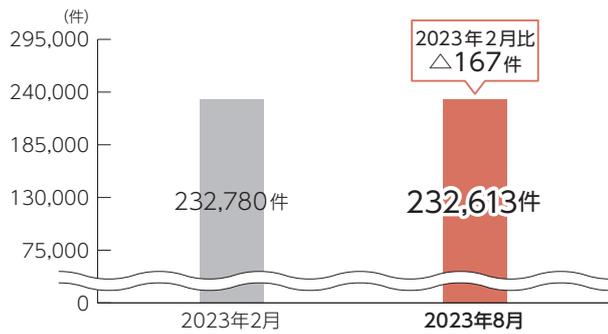
地域のお客さまの生活になくてはならない地域金融機関として、安心してお取引引きいただけるサポート体制を築いていきます。



● 年金振込件数の比較

セカンドライフを考えるうえで欠かせない年金について、お客さまの関心も高く、多くのご相談をいただきました。

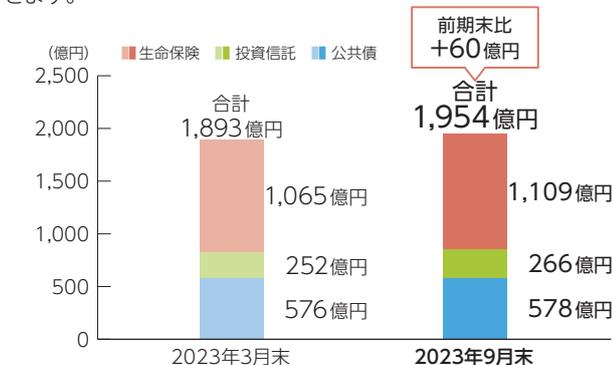
今後も様々な課題・悩みに対するご相談業務を通じて、お客さまから変わらぬご支持をいただけるよう努めていきます。



※基金を除く振込実績。

● 預かり資産残高の推移

預かり資産については、法令等を遵守するとともに、お客さまのご意向を伺ったうえで、適切な商品・サービスのご案内を行い、お客さまお一人おひとりに寄り添った課題解決に取り組んでいきます。



※生命保険の残高は、終身保険および年金保険の一時払および全期前納の合計残高で算出しています。

※外貨建て商品は、払込日のTTMLレートで円貨換算して算出しています。

● 損益の状況

業務純益について、前年同期は米国金利の上昇に対するリスク削減により外貨建債券の売却損を計画的に計上したことから、前年同期比24億円増加の15億円となりました。一方で、コア業務純益は、米国金利の高止まりによる外貨調達コストの増加を主な要因として、前年同期比28億円減少の23億円となりました。経常利益は30億円、当期純利益は21億円となり、安定した収益を確保しています。

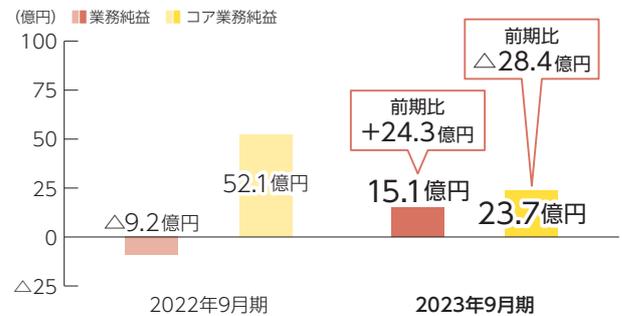
これからも、多摩の明るい未来の実現に向けて、経営基盤の強化に努めていきます。

(単位：百万円)

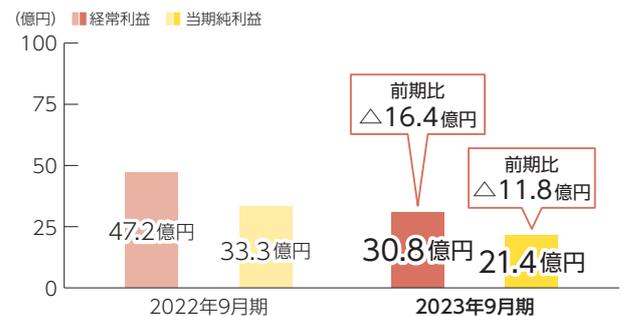
科目	2022年9月期	2023年9月期
業務粗利益	12,068	14,287
└うち資金利益	18,037	19,413
└うち役務取引等利益	1,381	1,496
└うちその他業務利益	△7,351	△6,621
一般貸倒引当金繰入額	—	△115
経費	12,989	12,887
業務純益	△920	1,515
└コア業務純益	5,217	2,376
臨時損益	5,653	1,579
└うち貸倒引当金戻入益	835	—
└うち個別貸倒引当金繰入額	—	226
経常利益	4,729	3,086
特別損益	△104	△105
当期純利益	3,333	2,148

※本項目における「経費」は、業務純益算出時の「経費」を用いており、損益計算書における「経費」とは異なります。

業務純益・コア業務純益の推移



経常利益・当期純利益の推移



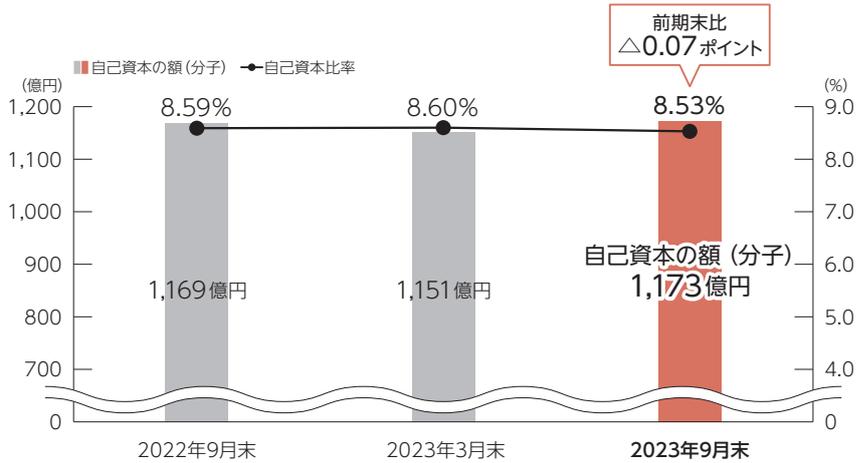
● 自己資本比率の推移

経営の健全性向上を目指しています

2023年9月末の自己資本比率については、「自己資本の額」(分子)は当期純利益の内部留保等により前期末比22億円増加の1,173億円となりました。

また、「リスク・アセット等の額の合計額」(分母)は同373億円増加の1兆3,759億円となり、自己資本比率は同0.07ポイント低下の8.53%となりました。

たましんは自己資本比率について、比率の高さだけを求めるのではなく、地域で果たす役割を第一と考えており、お客さまへ貢献した結果として課題解決の結果として得られる適正な利益の内部留保を着実に蓄積していくことで、経営の健全性向上を目指しています。



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(分子) (1,173億円)}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額(分母) (1兆3,759億円)}} \times 100 = 8.53\%$$

自己資本の額の内訳

項目	2023年9月末
コア資本に係る基礎項目の額	118,457
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	117,560
うち、出資金及び資本剰余金の額	27,013
うち、利益剰余金の額	90,546
うち、外部流出予定額(△)	—
うち、上記以外に該当するものの額	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	631
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	631
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	265
コア資本に係る調整項目の額	1,079
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く)の額の合計額	1,079
前払年金費用の額	—
自己資本の額((イ)-(ロ))	117,377

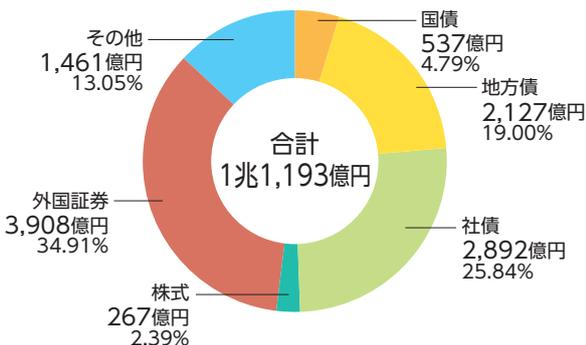
資産等の内訳

項目	資産の額等	信用リスク・アセット等の額
信用リスク・アセットの額の合計額	3,982,948	1,311,732
資産(オン・バランス項目)	3,495,294	1,293,933
現金	29,704	—
政府・中央銀行向け等	815,250	14,383
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	905,880	181,177
法人等向け	586,663	365,262
中小企業等向け及び個人向け	311,094	204,279
抵当権付住宅ローン	88,128	30,043
その他	758,573	498,787
オフ・バランス取引等項目	487,653	16,298
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	—	1,500
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	—	64,253
リスク・アセット等の額の合計額	3,982,948	1,375,986

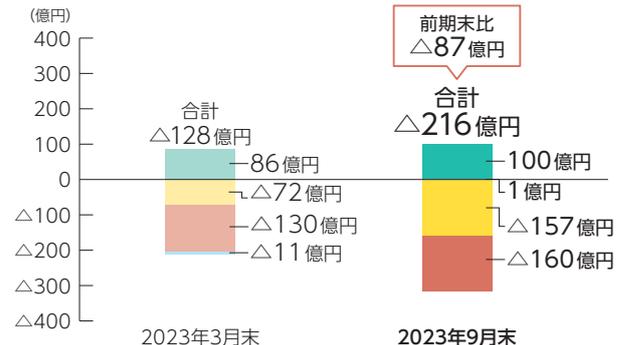
● 有価証券について

資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。また、「リスク管理」と「将来の収益確保」という観点から、運用資産におけるポートフォリオの組み換えを実施するなど適切に対応しています。

有価証券の種類別残高内訳(2023年9月末現在)



有価証券の評価損益

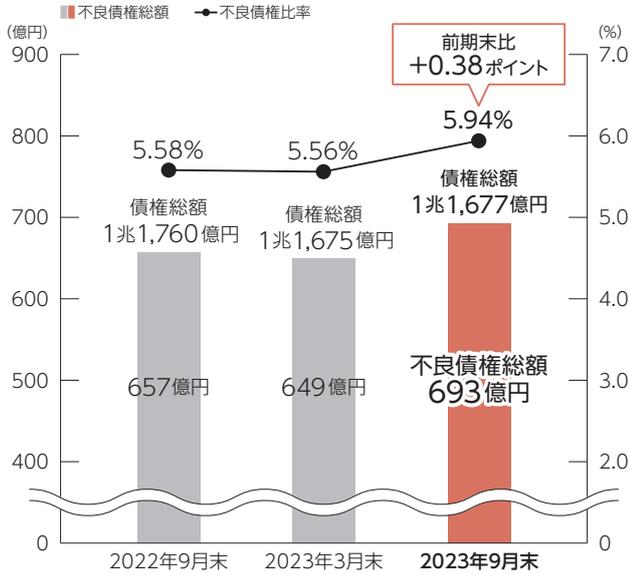


*有価証券の種類別残高は2023年9月末における貸借対照表計上額です。 *両図の「その他」は、投資信託等です。

● 不良債権の推移
(金融再生法における開示債権)

不良債権総額は前期末比43億円増加し693億円となり、不良債権比率は0.38ポイント上昇し5.94%となりました。

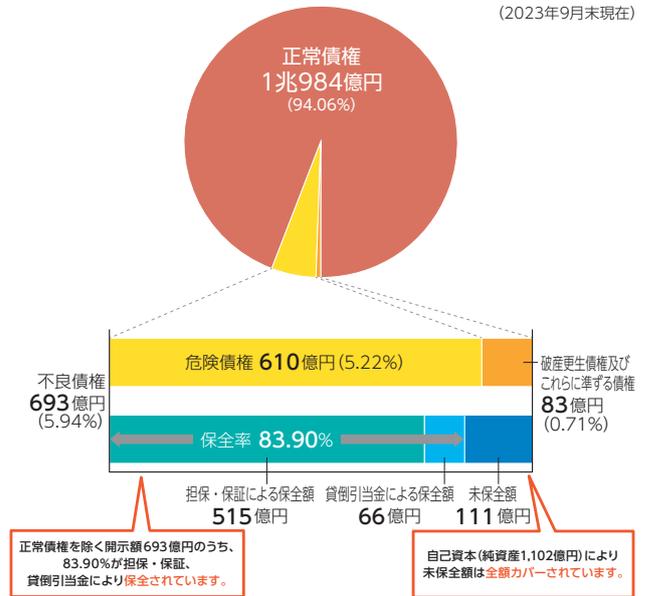
※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましが保証する私募債を対象にしています。



● 金融再生法開示債権の区分別割合と同債権に対する保全状況

正常債権を除く開示額693億円のうち、83.90%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの16.09%にあたる111億円は、自己資本(純資産1,102億円)により全額カバーされています。

※要管理債権の残高はありません。



● 外国為替取扱高と貿易相手国・地域

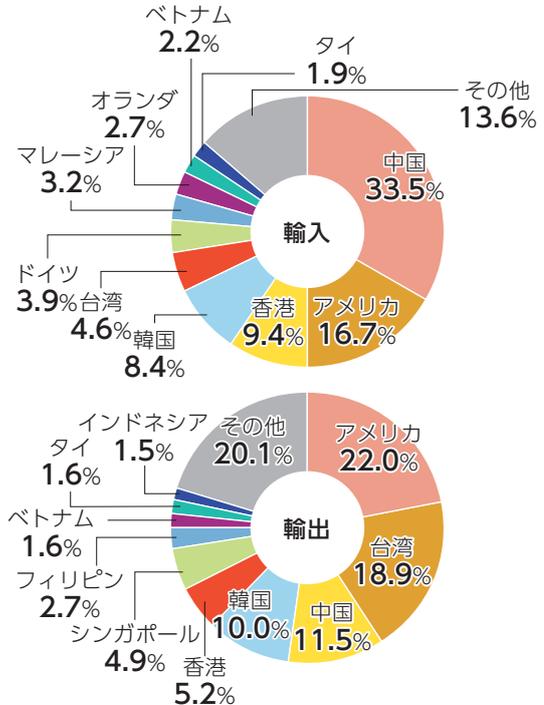
お客様の海外展開に関する課題やニーズに積極的にお応えするとともに、世界主要都市の金融機関と直接コルレス(提携)契約を締結し、輸出入決済などの外国為替業務を展開しています。なお、貿易相手国・地域別の取扱金額は、輸入では、中国が最も多く、輸出ではアメリカが最も多くなっています。

外国為替取扱高

(単位: 件・千米ドル)

科目	2022年9月期		2023年9月期	
	件数	金額	件数	金額
貿易	3,933	112,256	4,161	111,606
輸出	1,162	36,468	1,416	41,648
輸入	2,771	75,788	2,745	69,958
貿易外	2,781	46,587	2,017	35,326
海外送金等	1,343	19,639	1,602	27,458
外貨預金	1,438	26,948	415	7,868
外貨両替	971	890	837	761
合計	7,685	159,733	7,015	147,693

貿易相手国・地域別の取扱金額 (2023年9月期)



○本誌に掲載している計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいています。また、会計監査人の監査を受けていません。
○原則として単位未満切り捨て表示のため、合計・前期末比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。
○月末時点の計数については「〇年〇月末」、期間中の計数については「〇年〇月期」として項目表示しています。

